

45年度予算相決定! (予算建設委員会)

要求を基礎に予算斗争の展開を!

昨日 中執ら名が学生部と会見

昨日、「当局への公開質問状」にもとづいて会見が行われた。その中で、学生と大いに関係のある予算が明らかにされたのでおしらせします。

I 来年度カリキュラムへの学生の意見の反映

「来年度カリキュラムはまだ決定されておらず、各学部教授会には月中旬と下旬に集まってくり、一月に決定するだろう。学生の意見はとり入れるよう部会長会議に報告しておく」との返答。学生最大の不満であり、もつとも関心のあるカリキュラムにおいて、「このまま学生がだまされていくと一方的に決定されそうである。我々は当然、来年度カリキュラム作成に学生の意見と要求を反映させることを要求しなければならぬ。その為には、まだ各学部で教授会に意見を求め、カリキュラム案を発表させ、それをクラス、ロビーで討議する体制をとる必要がある。その為には、早急に学生の代表となるべき学部委員会を組織しなければならぬが、早い段階でもクラスの代表なり、その他の結核松を会見すべきである。」

II 45年度予算について

学生部委員会が予算建設委員会に提出する予算案次のようなものである。まだ予算全体は発表されていない。上記の学生関係予算が本日の予算建設委員会で決定され、今週中に大学校評会で決定される。また、また予算面に於いても学生の要求、意見もとり入れることなく決定されようとしているのである。

その上、ワ億という額にしてみても、学生に口からないうちから言っても学生対外的な三オイがある。

- ① 一対に対して、我々なちやんキニとは。
- ② 自治会を再選して、しいの母体、学生の正式代表をつくり出すこと。これなくして、本来の予算斗争はおこしえない。
- ③ 各クラス、サークルなどどうに要求をよこめて、学生部へつまつけること。これには緊急に行なわねばならぬ。
- ④ オ二学生ホール、合同部室、文系系合同後舎をつくる上での学生の要求。たとえは場所、内部設備などをよこめ、それを学生部につまつけること。
- ⑤ 自治会再選後、当局、一部、二部自治会、教授租をふくめた全学予算委員会を設置してゆくこと。

学生の下からの斗争をくして、実学連帯のいざら大阪市に要求しても、予算は獲得できない。今こそ、要求をキーンとした闘いをまきおこせよ。

29 (土) 再度学生部と会見

全学連立持会議